

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### これからの優良企業の条件

三品 和広 (神戸大学大学院教授)

1. 1982 年から直近に至るまで米国のダウ平均は年率 10% で右肩上がりを描いている。ふたを開けてみれば、ブラックマンデーも、ドットコムバブルの崩壊後も、リーマンショックも、物ともしていない。その理由は、2018 年の構成銘柄のうち、1982 年から居残る銘柄は 4 分の 1 もない。それだけ新興企業が伸びてきて、新陳代謝が実現したのである。
2. ひるがえって、日経平均の構成銘柄はどうであろうか。居残り銘柄が優に 4 分の 3 を超えている。そこに日米間の決定的な違いがある。日本企業の自己変革が不十分極まりないことを物語っている。日経平均の 36 年間の上昇が年率 3% にとどまっているのは、日本企業の場合は、自己変革というより管制変革に限りなく近かった。
3. これからはハードルがさらに高くなる。取締役の半数前後を社外とし、ESP (1 株当たり利益) を年率 5% 以上で成長させることが、優良企業の条件となると思われる。日本企業もたゆまぬ自己変革の方法論を体得すべきであろう。

(参考:「週刊東洋経済」2019年3月16号)

### 経営者のための危機管理

#### 負けることで相手の立場を知る

1. 高田明 (ジャパネット元社長) が 66 歳だった 2015 年、長男の高田旭人を社長にした。弱冠 35 歳で 1500 億円企業を継ぐことになった。30~40 代のうちから経営の判断を続けた方がいいと考えてのことだ。「トップは孤独なもの。でも、その苦しさの中で決断し、失敗も経験しなければならぬ」との思いもあった。
2. 現在、高田明はサッカー J2 リーグの「V・ファーレン長崎」の社長を務める。就任直後に J1 昇格の歓喜に沸いたが、昨季、再び J2 降格になった。だが、高田は「勝つことだけが目的ではない」と言う。観る人の人生が豊かにできればいい。だから、アウエーの試合にも乗り込み、相手のファンに挨拶して交流する。ホームでも相手のゴール映像を流す。すると相手のファンが長崎に観戦にやってくる。「負けることで相手の気持ちをより考えられるようになる」

(参考:「日経ビジネス」2019年2月11日号)

### 経営者のための理念・哲学

#### 徳について 田口佳史 (東洋思想家)

1. 35 歳で初めて松下幸之助にお目にかかった時、「経営者の条件とは何か」と聞いたら、真っ先に「運が強いことや」と。「運を強くするにはどうしたらいいですか」と聞きました。そうしたら、「徳を積むしかない」と言われました。また、「徳というのは A さんに掛けて、A さんから返ったことは一回もない。だからといって、A さんに徳を掛けなくていいかというところではない。どこから返ってくるか分からないから、会う人には徳を掛けなきゃいけない」とも言われた。
2. 徳は何かとうと、道元は「丁寧に心を込めて一人一人接していけば、ありがとうと感謝され、自分が病に臥せたり仕事がうまくいかずに腐っていたりする時に、見返りなく手をさし伸ばしてくれる。そういう感謝の人間で結ばれた人が周囲に何人いますか」となります。

(参考:「致知」2019年4月号)

## 古典に学ぶ

### 学問を修むる必要

(解説) 世人はよく知力を進めねばならぬとか、時勢を解せねばならぬとか言うが、なるほどこれは必要なことで、時を知り事を選ぶ上には、知力を進めること、すなわち、学問を修むる必要がある。とは言うものの、知力がいかに十分であっても、これを働かさねば何の役にも立たない。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)